

作業療法の実践と科学 利益相反申告書

過去1年間の研究・学会発表を遡り、本研究に関して申告すべき利益相反状態にある場合は該当項目の該当状況欄に「はい」を入力し、該当著者名、企業名あるいは団体名等を記載してください（例）作業太郎：株式会社作業花子）。申告すべき事項がない場合は該当状況欄に「いいえ」を入力してください。共著者が利益相反状態にある場合も該当します。著者全員の利益相反状況を必ず確認してください。（提出は本紙1枚のみです）

	項 目	該当 状況	該当した場合は 該当著者名・企業・団体名等を記載
1	1つの企業や団体から年間100万円以上の報酬を得ている。		
2	1つの企業から年間100万円以上、または当該株式の5%以上を保有し、株式利益を得ている。		
3	1つの特許権使用料につき年間100万円以上の特許使用料を得ている。		
4	1つの企業や団体から年間合計50万円以上の講演料を得ている。		
5	1つの企業や団体から年間合計50万円以上の原稿料を得ている。		
6	1つの企業や団体からの研究経費を共有する所属部局に支払われた年間総額が200万円以上の研究費や助成金を得ている。		
7	1つの企業や団体からの奨学寄附金を共有する所属部署に支払われた年間総額が200万円以上の奨学（奨励）寄附金を得ている。		
8	本研究を実施するにあたり、企業や団体が提供する寄附講座を有している。		
9	利益相反状態にある企業や団体から、旅費や贈答品などのために年間5万円以上受領している。		

この書面を以って、下記論文に関わる著者全員の利益相反状況を偽りなく申告しました。

論文名	
筆頭著者	